

## 中央防災会議

### 「防災情報の共有化に関する専門調査会」(第五回)発表者

1. 国立病院東京災害医療センター院長 邊見 弘 氏  
『災害時医療における情報の流通について』
  - ・ 広域災害発生時の医療拠点施設であり、平時より災害時医療を中心とした臨床研究及び医療従事者等の教育研修にも力を入れている。
  
2. 特定非営利活動法人レスキューストックヤード代表理事  
西田 又紀二 氏  
『災害NPO・ボランティアの取組みと課題』
  - ・ 「震災から学ぶボランティアネットの会」から始まった名古屋市に拠点を置くNPO法人。東海豪雨水害での活動を経験しており、災害ボランティアコーディネーターの養成講座や災害弱者をつくらないためのしくみづくりの調査・研究などを行っている。
  
3. 早稲田商店会エコステーション事業部長 藤村 望洋 氏  
『住民等における防災情報共有に向けた取組み』
  - ・ 商店街が、地域ぐるみの防災活動の核となり、また商店街ネットワークを活用し、地域を越えた防災ネットワークを形成している。